

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	5165
部 名	教育総務部	課 名	学務課	課長名	入江 建夫
事務事業名	小中学校運営費（本課分）				
予算上の事務事業名	小中学校運営費（本課分）				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
学校教育法施行規則 地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
小中学校の運営に係る需用費のうち、スケールメリット等を勘案して教育委員会が実施した方が効率的な物品等の購入を行うもの。				小中学校99校	
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。 必要な時期に以下の費目について執行した。 (1) 報償費：各種大会参加報償金(中学校のみ) (2) 消耗品費：内外教育、教務手帳、クロス表紙、旧JIS天板、卒業証書用筒等 (3) 印刷製本費：あゆみ、通知票、学校日誌、出席簿、指導要録、卒業証書等 (4) 役務費：堆肥運搬、学校飼育動物治療費(小学校のみ)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
内容は各市の歴史的経緯等により相違はあるものの、学校運営費は各市とも学校配当分と本課分とがある。その内容をどう実質的に効果あるものにしていくかを、その都度検証しつつ見直していく必要がある。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	39,222	51,648	33,690	39,739	44,556
一般財源	39,222	51,648	33,690	39,739	44,556
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	11,307	11,452	11,377	11,377	11,377
事業コスト合計	50,529	63,100	45,067	51,116	55,933
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	小中学校運営費(本課分)			対象名称と単位	小中学校数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	50,529	63,100	45,067	51,116	55,933
対象数	82	82	82	99	111
単位あたり経費(円)	616,207	769,512	549,598	516,323	503,901
前年度比		1.25	0.71	0.94	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	小中学校運営費（本課分）	指標式と指標の説明	小中学校数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	82.0	82.0	82.0		
目標	82.0	82.0	82.0	99.0	111.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	小中学校運営費（本課分）	指標式と指標の説明	小中学校数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	82.0	82.0	82.0		
目標	82.0	82.0	82.0	99.0	111.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）					
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
			(3) 課長の評価に関する説明		
			小中学校の運営に必要な物品等をニーズに即応して統一的に整備している。		
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
物品の購入等に際しては、必要数を調査した上で精査し、予算を執行している。			再配当予算化した方が、より効果的・効率的なものがないか、予算の執行内容の見直しを図りたい。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			